

2020年5月29日(金)

愛知県建設局河川課計画グループ

担当 戸田・堀田

内線 2729・2730

ダイヤルイン 052-954-6555

愛知県建設局下水道課公共下水道グループ

担当 藤城・落合

内線 2686・2684

ダイヤルイン 052-954-6535

境川流域水害対策計画の進捗状況等について (第36回境川流域総合治水対策協議会の結果報告)

愛知県では、2014年3月に特定都市河川浸水被害対策法に基づく境川・猿渡川流域水害対策計画を県と市町が共同で策定し、それぞれの管理者が連携し、河川整備や下水道整備等を着実に実施して、流域の治水安全度の向上に取り組んでいるところです。

この度、総合治水対策協議会において、2019年度末における計画の進捗状況を、確認しました。また、2020年度の総合治水PR活動について合意しましたので、下記のとおり、お知らせします。

記

1 境川流域での流域水害対策計画の進捗状況について

流域水害対策計画に位置付けられた様々な対策の実施状況や進捗状況など、協議会においてモニタリングした内容についてお知らせします。

2 総合治水PR活動について

総合治水対策の取り組みを、より多くの流域住民の皆様にご理解、ご協力いただけるよう、流域内のショッピングセンター等において啓発活動を実施します。

なお、今年度については、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、実施を検討します。

境川流域総合治水対策協議会(会長 愛知県建設局長)

【構成員】愛知県、名古屋市、刈谷市、豊田市、安城市、東海市、大府市、
知立市、豊明市、日進市、みよし市、東郷町、東浦町

境川流域水害対策計画の進捗状況等について

(第36回新川流域総合治水対策協議会の結果報告)

1 境川流域水害対策計画の進捗状況について

<2019年度の取組状況>

境川流域水害対策計画では、①河川の整備、②下水道の整備、③その他流域の整備を連携して実施することで、2014年から概ね30年間で、年超過確率 1/10 (63mm/h) の降雨に対し、著しい浸水被害(住宅床上浸水被害)を解消することを目的としています。

2019年度は以下のとおり、各種整備に取り組んでおり、境川流域の浸水被害軽減に寄与しています。詳細については、「参考資料」をご覧ください。

①河川の整備

- ・河道整備
さかいがわ あいづまがわ
(境川、逢妻川など)
- ・河床掘削
さわたりがわ
(猿渡川)



②下水道の整備

- ・下水道の整備(雨水対策の増強)
をみよし市で3ha実施

③その他流域の整備

- ・貯留施設の整備
(流域内で計1,187m³の貯留機能の向上)



今後も継続して各整備内容のモニタリングを実施しながら、事業の推進に取り組んでまいります。

2 総合治水 PR 活動について

本協議会では、流域住民の皆様の治水に対するご理解とご協力が重要であることから、1991年度に毎年5月15日から21日の間を「総合治水推進週間」に制定し、総合治水対策の取組を幅広く知ってもらうため、各種PR活動を実施しています。

2020年度に実施を予定するPR活動を以下のとおり、紹介します。

(なお、今年度については、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、実施を検討いたします。)

PR イベントの開催

流域内のショッピングモールやお祭りなどのイベントにおいて、パネルの展示等により、総合治水の取り組みの紹介、県・市町が実施している治水事業の進捗や効果のPR、防災に関する情報提供などを行います。

〈参考 2019年度に実施したPR活動〉



刈谷市での実施状況
(刈谷わんさかまつり)



豊田市での実施状況
(とよた産業フェスタ)



東浦町での実施状況

ホームページによる PR

協議会で作成するホームページにおいて、県や各市町、民間で行われている総合治水対策を紹介するなど、流域住民の皆様に向けて情報を発信します。

〈HPアドレス〉

<http://www.sougo-chisui.jp/>

〈QRコード〉



参考資料

境川・猿渡川流域水害対策計画 モニタリング資料

令和2年5月

◇流域水害対策計画のモニタリングについて

1. はじめに

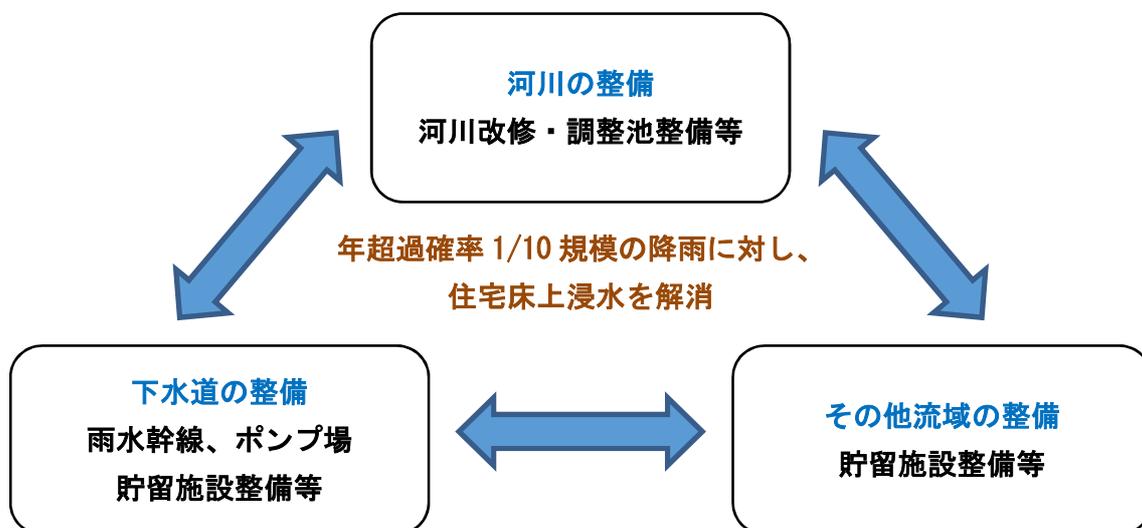
(1) 背景

○特定都市河川浸水被害対策法の適用

境川・猿渡川流域では、昭和 30 年代後半からの市街化の進展に伴う、流域の保水・遊水機能の低下や洪水流出量の増大により、水害の危険性が増大しました。これまで河川整備や総合的な治水対策に取り組んできたものの、平成 12 年 9 月の東海豪雨において甚大な浸水被害が生じました。そこで、総合的な治水対策をより確実に展開するため、特定都市河川浸水被害対策法を適用し、平成 26 年 3 月に河川管理者、下水道管理者、及び流域市町が共同で「境川・猿渡川流域水害対策計画」を策定し、今後さらに流域での連携を強化し、効率的な浸水被害対策に取り組んでいくこととしました。

○流域水害対策計画の目的

境川・猿渡川流域水害対策計画は、概ね 30 年間で年超過確率 1/10 の規模の降雨に対し、著しい浸水被害（住宅床上浸水被害）を解消することを目的としています。



(2) モニタリング

境川・猿渡川流域水害対策計画に基づく事業等の進捗状況などについてフォローアップを行い、事業等を確実に実施するとともに、必要に応じて計画の見直しの検討などを行います。また、その内容を公表することとしています。

2. 令和元年度の出水状況等

(1) 令和元年度の出水状況のまとめ

令和元年度は、流域内において大きな浸水被害は発生しませんでした。二級河川猿渡川水系猿渡川において、公共土木施設被害がありました（令和元年10月24～25日）。

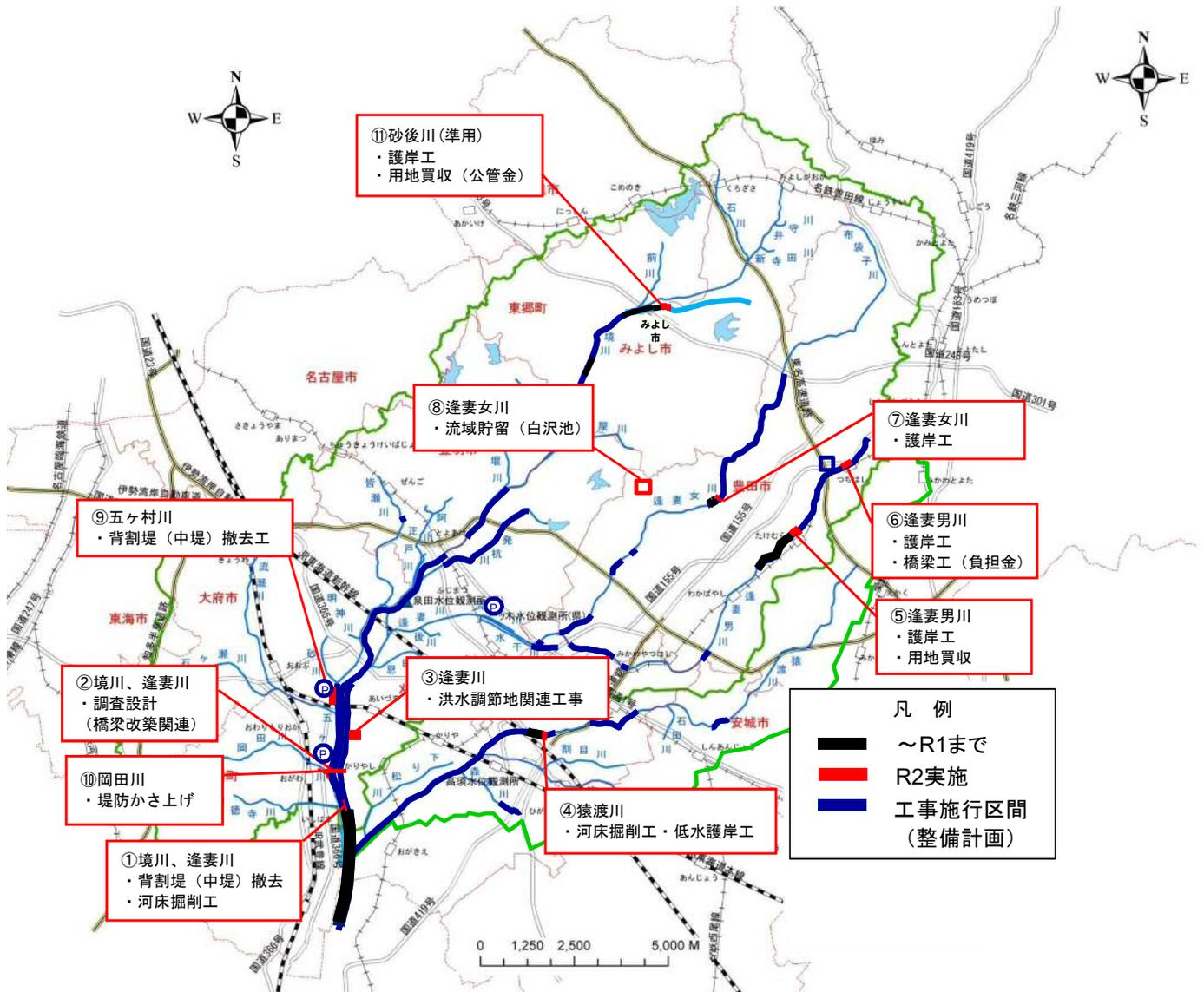
(2) 境川流域における代表的な降雨

発生年月日	60分最大雨量／総雨量 (観測所名)	家屋被害状況 (水害統計調査による)
令和元年10月24～25日	24mm/109mm (知立雨量観測所)	被害なし

3. 各整備の進捗状況

(1) 河川事業

境川流域河川事業の進捗と令和2年度計画について



①②境川、逢妻川	川底の掘り下げや背割堤(中堤)の撤去により、流下能力を向上させます。また、改修の支障となる(主)名古屋碧南線の橋梁架け替えに必要な調査設計等を行います。
③逢妻川	洪水調節地を整備します。
④猿渡川	川底を掘り下げ、流下能力を向上させます。
⑤⑥逢妻男川	川幅を広げ、流下能力を向上させます。また、上流部では、豊田市の区画整理事業と連携した整備を行います。
⑦⑧逢妻女川	川幅を広げ、流下能力を向上させます。また既存のため池を活用した流域貯留施設を整備します。
⑨五ヶ村川	流下能力を向上させるため、中流部で背割堤(中堤)を撤去します。
⑩岡田川	高潮対策のため、堤防のかさ上げを行います。
⑪砂後川	区画整理と連携し、川幅を広げ、流下能力を向上させます。

主な河川整備の状況 (1)



①境川：背割堤（中堤）撤去
工事実施状況

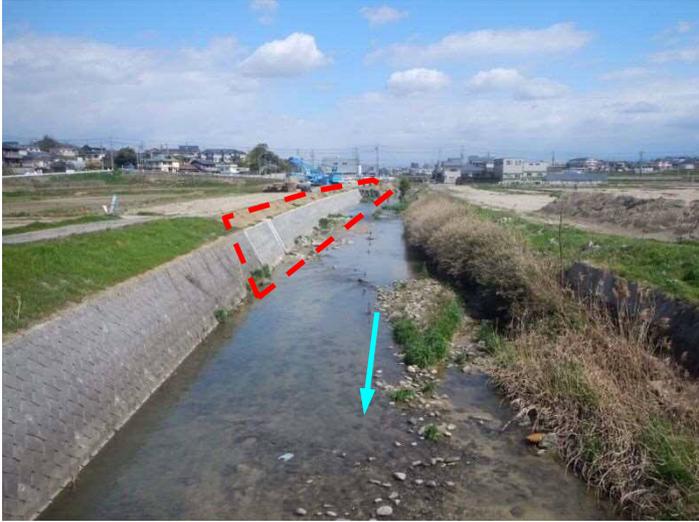


②逢妻川：洪水調節地
築堤工実施状況
人道橋実施状況（堰の川付替関連）



④猿渡川：
低水護岸工実施状況
（弘法橋上流部）

主な河川整備の状況（2）



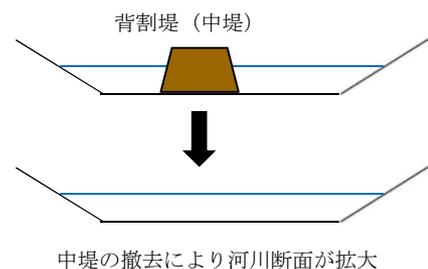
⑤逢妻男川：
護岸工



⑦逢妻女川
護岸工実施状況

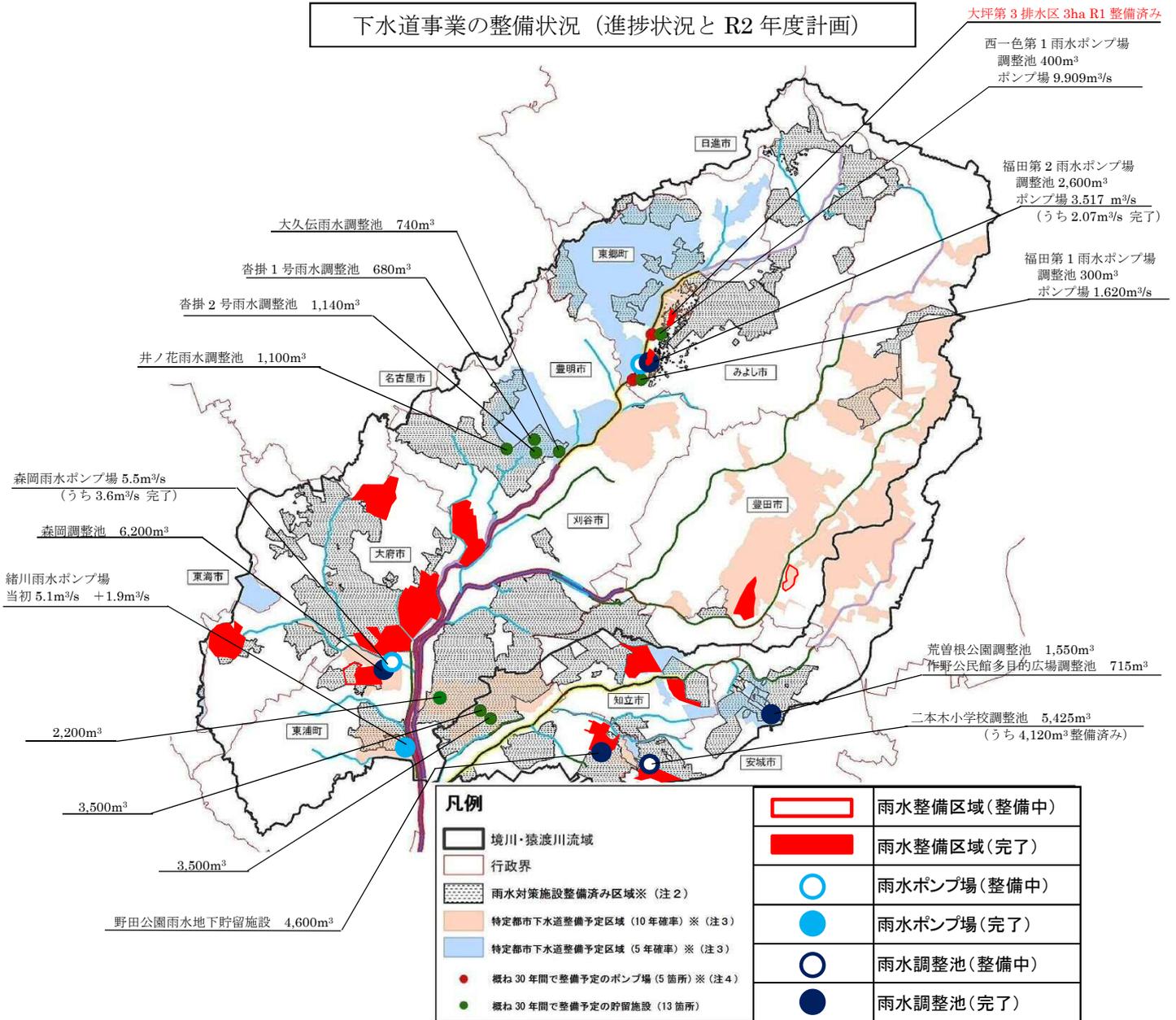


⑨五ヶ村川
背割堤（中堤）撤去実施状況



(2) 下水道事業

下水道事業の整備状況（進捗状況と R2 年度計画）



※(注1) 上記は平成21年度末時点の整備概要である。

※(注2) 「雨水対策施設整備済み区域」は年超過確率 1/5 の規模の降雨が発生した場合の平成23年度末時点の整備済み区域を示す。

※(注3) 市町の雨水排水は、下水道(公共下水道や都市下水路)のほか、市町が管理する法定外水路、農業用排水路などによって行われている。「特定都市下水道整備予定区域」は、概ね30年の間にこれらの改修や増強、雨水調整池の整備を「下水道事業」で行うことにより、都市浸水に対する安全度を現在よりも向上させる区域を示す。特定都市下水道整備予定区域には、施設の機能向上に伴う再整備を含む。

※(注4) 「整備予定のポンプ場」における「整備予定」とは、ポンプの増設を含むものとする。

◆特定都市下水道の整備状況

	雨水整備区域※2				下水道雨水調整地※3				下水道雨水ポンプ場※3			
	整備 予定面積 (ha)	R1年度 整備面積 (ha)	R1年度末 整備面積 (ha)	整備 進捗率 (%)	整備 予定容量 (m3)	R1年度 整備容量 (m3)	R1年度末 整備容量 (m3)	整備 進捗率 (%)	整備予定 排水能力 (m3/s)	R1年度 整備 排水能力 (m3/s)	R1年度末 整備 排水能力 (m3/s)	整備 進捗率 (%)
	A1	-	B1	B1/A1	A2	-	B2	B2/A2	A3	-	B3	B3/A3
名古屋市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
刈谷市	545	0	75.6	13.9%	13,800	0	4,600	33.3%	-	-	-	-
豊田市	895	0	41	4.6%	-	-	-	-	-	-	-	-
安城市	190	0	30.3	15.9%	7,690	0	6,385	83.0%	-	-	-	-
東海市	67	0	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
大府市	238	0	229	96.2%	-	-	-	-	-	-	-	-
知立市	168	0	123	73.2%	-	-	-	-	-	-	-	-
豊明市	269	0	0	0.0%	3,670	0	0	0.0%	-	-	-	-
日進市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
みよし市	43	3	10	23.3%	1,400	0	2,600	185.7%	15.1	0	2.07	13.7%
東郷町	564	0	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
東浦町	193	0	28	14.5%	6,200	0	6,200	100.0%	5.5	0	3.6	65.5%
合計	3,172	3	536.9	16.9%	32,760	0	19,785	60.4%	20.6	0	5.67	27.5%

※1「雨水整備区域」、「下水道雨水調整池」、「下水道雨水ポンプ場」の各整備予定量は、流域水害対策計画に定めた年度から概ね30年間の整備予定量です。

※2雨水整備区域の「整備面積」は、下水道（公共下水道や都市下水路）や市町が管理する法定外水路及び農業逕排水路などの改修や増強、雨水調整池の整備を「下水道事業」で行うことにより、都市浸水に対する安全度を向上させた区域面積を示します。従って、区域に降った雨を実際に処理する能力は、雨水調整池や雨水ポンプ場など流末の整備状況により異なります。

※3下水道雨水調整池の「整備容量」及び下水道雨水ポンプ場の「整備排水能力」は施設それ自体の整備量を表しています。従って、区域に降った雨を実際に処理する能力は、施設が受け持つ区域内の管路の整備状況により異なります。

(3) 流域の整備

◆貯留施設（下水道施設以外）の整備

流域市町が実施した貯留施設の整備の進捗状況は下表のとおり。

	計画容量 (m^3)	貯留施設		
		R1年度 整備容量 (m^3)	R1年度末 整備容量 (m^3)	進捗率
名古屋市	7,100	0	7,170	101.0%
刈谷市	86,900	0	112,666	129.7%
豊田市	54,000	520	26,898	49.8%
安城市	2,100	148	1,672	79.6%
東海市	0	0	0	0.0%
大府市	42,000	114	22,513	53.6%
知立市	50,600	0	3,461	6.8%
豊明市	98,300	0	4,768	4.9%
日進市	1,000	0	0	0.0%
みよし市	21,700	405	7,152	33.0%
東郷町	35,900	0	13,960	38.9%
東浦町	31,400	0	1,542	4.9%
合計	431,000	1,187	201,802	46.8%

◆令和元年度に整備が完了した施設



荒池保育園
(約 50 m^3 :大府市)

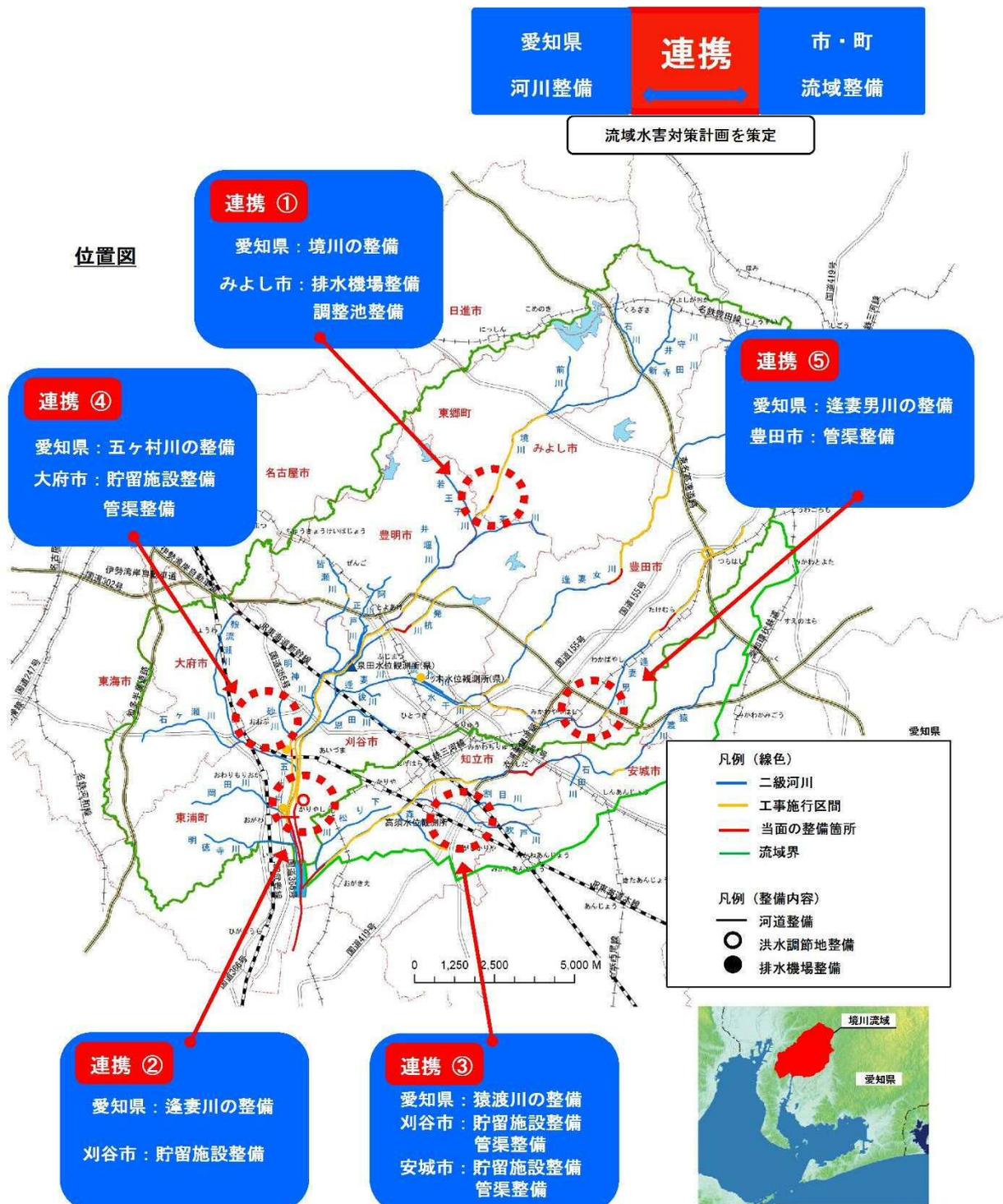


北山小学校
(約 70 m^3 :大府市)

(4) 連携事業について

近年の浸水実績被害や想定浸水箇所を対象として、早期に有効な治水対策を着実に実施できるよう、各管理者の事業内容や時期を確認し、連携事業としてとりまとめています。

境川・猿渡川においては、下記の5つの連携事業として取り組んでいます。



4. 雨水貯留浸透施設の整備状況

(1) 雨水浸透阻害行為により貯留浸透施設が設置された開発

特定都市河川浸水被害対策法第9条、第14条により、流域内で行う500㎡以上の開発等（雨水浸透阻害行為＝雨水がしみこみにくくなる行為）には、許可等が必要です。許可等の対象となり、雨水流出抑制対策（貯留施設、透水性舗装、浸透マス等）が行われた開発等は下表の通りです。

【境川流域】

	令和元年度				平成24年4月1日～令和2年3月31日までの累計					
	許可件数 (9条・14条)	対策施設				許可件数 (9条・14条)	対策施設			
	件数	貯留 (m ³)	透水性 舗装 (m ²)	浸透 トレンチ (m)	浸透樹 (個)	件数	貯留 (m ³)	透水性 舗装 (m ²)	浸透 トレンチ (m)	浸透樹 (個)
名古屋市	4	275	288	0	8	15	563	940	73	19
豊明市	24	8,604	4,105	0	19	145	28,267	60,181	427	53
日進市	1	200	0	0	0	6	5,291	0	0	0
東郷町	14	1,624	5,916	82	0	104	43,921	30,855	371	82
東海市	1	0	0	0	0	11	2,225	99	151	24
東浦町	4	744	0	0	0	45	11,462	12,599	0	22
大府市	22	3,730	4,293	0	0	162	23,110	37,428	415	58
刈谷市	29	9,667	14,692	0	0	175	22,085	66,297	1,192	112
知立市	18	2,353	7,686	32	2	135	12,748	37,796	623	106
安城市	5	318	1,672	0	0	45	4,054	14,841	317	10
豊田市	37	31,678	19,743	335	33	154	42,073	49,852	927	137
みよし市	18	18,559	10,118	0	0	120	63,097	90,324	367	112
合計	177	77,752	68,515	449	62	1,259	296,080	498,777	4,820	721



これらの開発等には、標識看板が設置されています。

◆雨水浸透阻害行為面積別件数及び面積(9条・14条)

	H24年度		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度	
	許可件数	合計面積 (m ²)										
500㎡～1,000㎡未満	38	27,876	59	43,292	64	49,519	60	44,545	55	44,400	66	44,698
1,000㎡以上	53	184,500	85	341,991	104	315,923	105	703,838	108	691,216	108	476,006
合計	91	212,376	144	385,283	168	365,442	165	748,383	163	735,616	174	520,704

	H30年度		令和元年度		R2年度		R3年度		R4年度		合計	
	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)	許可件数	合計面積 (m ²)
500㎡～1,000㎡未満	62	47,437	49	33,768							453	335,534
1,000㎡以上	115	609,688	128	722,284							806	4,045,447
合計	177	657,125	177	756,052							1,259	4,380,981

◆許可件数内訳(9条・14条及び16条(変更))

9条	14条	小計	16条
1,196	59	1255	518

※許可件数、対策施設及び阻害行為面積については、平成30年3月31日現在における集計値を示しており、法第16条、第18条に基づく変更ならびに廃止があった場合は、変更後の値としております。

(2) 保全調整池の指定について

◆保全調整池とは

特定都市河川浸水被害対策法第 23 条に基づき、これまでに流域内に設置された 100m³ 以上の防災調整池を保全調整池として指定し、その機能の保全に取り組んでいます。令和元年度までの指定状況は下表のとおりです。

	既存調整池		条例等により保全		保全調整池 指定候補(案)		保全調整池 (～R1 指定済)		容量比 指定率
	件数 (件)	容量 (m ³)	件数 (件)	容量 (m ³)	件数 (件)	容量 (m ³)	件数 (件)	容量 (m ³)	
名古屋市			2	3,437					
刈谷市	43	100,365	-	-	43	100,365	28	76,680	76.4%
豊田市	99	227,013	-	-	99	227,013	28	47,918	21.1%
安城市	10	59,056	8	54,363	2	4,693	3	4,818	102.7%
東海市	1	175	-	-	1	175	1	175	100.0%
大府市	66	190,167	-	-	66	190,167	32	106,056	55.8%
知立市	19	52,851	-	-	19	52,851	14	42,573	80.6%
豊明市	23	123,306	-	-	23	123,306	14	39,569	32.1%
日進市	1	1,428	-	-	1	1,428	-	-	0.0%
みよし市	31	229,760	-	-	31	229,760	25	137,587	59.9%
東郷町	14	24,466	-	-	14	24,466	8	17,531	71.7%
東浦町	21	142,630	-	-	21	142,630	7	23,954	16.8%
合計	328	1,151,217	8	54,363	320	1,096,854	160	496,861	45.3%

◆今年度の指定状況

令和元年度の指定はありませんでした。なお、近年の指定告示状況は下表のとおりです

		H27.10.6 指定告示		H28.3.4 指定告示		H30.3.23 指定告示		H31.3.1 指定告示	
		件数 (件)	容量 (m ³)	件数 (件)	容量 (m ³)	件数 (件)	容量 (m ³)	件数 (件)	容量 (m ³)
名古屋市告示	名古屋市	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県告示	刈谷市	2	6,883	1	8,028	3	3,553	3	6,885
豊田市告示	豊田市	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県告示	安城市	-	-	-	-	-	-	-	-
	東海市	-	-	-	-	-	-	-	-
	大府市	2	1,527	-	-	-	-	-	-
	知立市	-	-	2	8,313	-	-	5	9,626
	豊明市	-	-	1	5,456	-	-	-	-
	日進市	-	-	-	-	-	-	-	-
	みよし市	-	-	-	-	-	-	-	-
	東郷町	-	-	4	8,879	-	-	-	-
東浦町	-	-	-	-	1	3,552	-	-	
合計		4	8,410	8	30,676	4	7,105	8	16,511

5. 浸水被害拡大防止対策の状況

(1) 都市洪水想定区域図の指定状況

河川の氾濫により浸水が想定される区域、水深を指定したものです。

対象河川	降雨規模(年超過確率)	公表日	閲覧方法
境川	24時間総雨量 760mm (想定最大規模)	令和2年 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県建設部河川課 HP (http://www.pref.aichi.jp/kasen/) ・県河川課、関係建設事務所での縦覧
逢妻川	24時間総雨量 765mm (想定最大規模)	令和2年 4月	
猿渡川	24時間総雨量 822mm (想定最大規模)	令和2年 4月	

※水防法による浸水想定区域図を都市洪水想定区域図としています。

(2) 浸水予想図

河川の氾濫(破堤、溢水、越水)により浸水が想定される区域、水深、浸水継続時間等を公表している。

対象河川	降雨規模(年超過確率)	公表日	閲覧方法
境川流域	24時間751mm(1/1000以下)	R2.4.10	県河川課HP https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/shinsuiyoso-02.html 県河川課、建設事務所、県民防災情報センターでの閲覧

(3) 都市浸水想定区域図の指定状況

内水氾濫により浸水が想定される区域、水深を指定したものです。

対象市町	降雨規模 (年超過確率)	公表日	閲覧方法
名古屋市、刈谷市、 豊田市、大府市 みよし市、東浦町	1時間 63mm (1/10)	平成26年 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・境川流域総合治水対策協議会 HP (http://www.sougo-chisui.jp) ・各市役所、町役場 HP ・各市役所、町役場での縦覧
日進市	1時間 57mm (1/7)	平成26年 7月	
安城市、東海市、 知立市、豊明市、 東郷町	1時間 52mm (1/5)	平成26年 7月	

(4) 洪水・内水ハザードマップ作成状況

市町名	当初 公表年月	最新 公表年月
名古屋市	平成14年7月	平成30年8月
刈谷市	平成14年10月	平成22年3月
豊田市	平成16年3月	平成22年11月
安城市	平成19年4月	平成25年8月
東海市	—	—
大府市	平成21年3月	平成31年3月

知立市	平成 22 年 3 月	—
豊明市	平成 16 年 1 月	平成 25 年 5 月
日進市	—	—
みよし市	平成 15 年 3 月	平成 26 年 12 月
東郷町	平成 27 年 4 月	—
東浦町	平成 22 年 3 月	平成 26 年 11 月

※各市役所、町役場のホームページに掲載されています。

※東海市、日進市においては、境川流域の洪水ハザードマップはありません。

(5) 洪水予報河川、水位周知河川の状況

・洪水予報河川：対象河川において、県と気象庁が共同で情報を発表します。

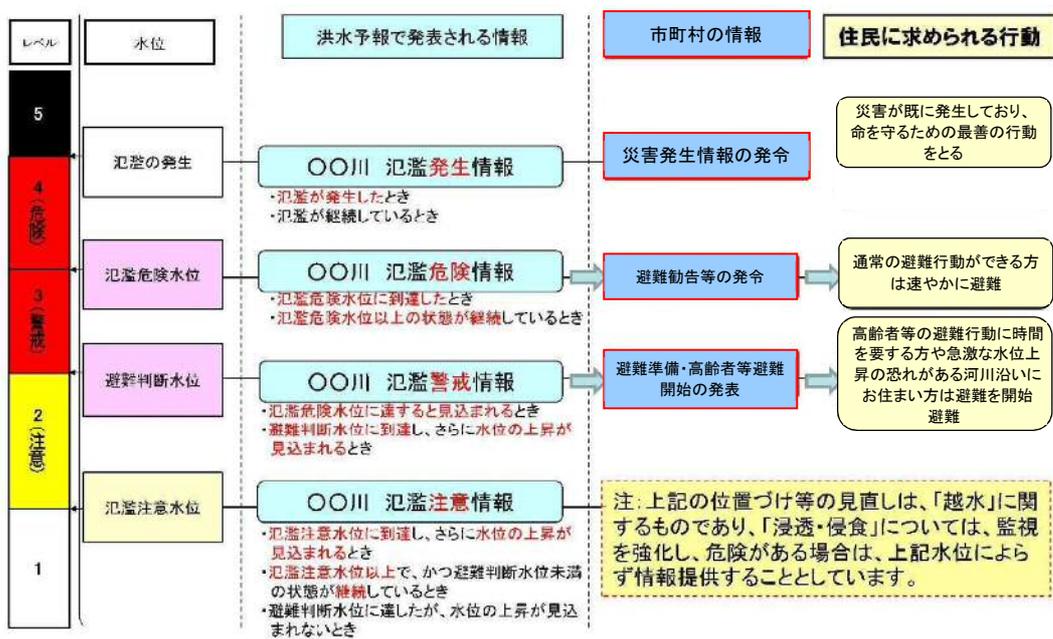
河川名	基準地点	指定日	発表状況(令和元年度)				
			洪水注意報		洪水警報		
			はん濫 注意情報	解除	はん濫 警戒情報	はん濫 危険情報	はん濫 発生情報
境川	泉田	H20.6.1	R1.5.21 6:10	R1.5.21. 10:00	—	—	—
			R1.6.30 18:20	R1.6.30 19:10	—	—	—
			R1.7.4 6:40	R1.7.4 8:50	—	—	—
			R1.8.16 5:10	R1.8.16 7:00			
			R1.10.25 11:20	R1.10.25 17:30	R1.10.25 14:05		
逢妻川	一ツ木		R1.6.27 23:40	R1.6.28 2:10	—	—	—

・水位周知河川：対象河川において、県が避難判断水位到達情報等を発表します。

河川名	基準地点	区間	指定日	発表状況(令和元年度)	
				避難判断 水位到達情報	氾濫危険 水位到達情報
猿渡川	猿渡川	八ツ田橋 ～河口	H21.6.1	—	R1.7.4 5:50
逢妻女川	千足	布袋子川 ～逢妻川	H20.6.1.	R1.5.21 5:40	—
				R1.6.27 22:10	R1.6.27 22:12
				R1.6.30 16:36	R1.6.30 16:48
				R1.7.4 4:50	R1.7.4 5:10
				R1.10.25 12:00	R1.10.25 12:30

上記の情報は、関係する市町が避難勧告、避難指示等を発令する判断の参考となるものです。

対応関係のイメージは下図のとおりです。



出典：水害ハザードマップ作成の手引き（平成 28 年 4 月）

国土交通省水管理・国土保全局 河川環境課水防企画室
に愛知県河川課で加筆

(5) 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置状況

愛知県では、平成29年度から「危機管理型水位計」の設置を順次進めており、境川・猿渡川水系では、8河川11箇所を設置済である。また、簡易型河川監視カメラについては令和元年度に3河川3箇所を設置済である。

(6) みずから守るプログラム

地域の水害に対する防災意識の向上や住民の避難行動の支援を目的に、「みずから守るプログラム」を実施しており、平成30年度からは、「地域防災リーダーの育成」を進めています。

境川・猿渡川流域等での実施状況は下表のとおりです。

支援事業名	令和元年度実施	平成23～30年度
地域防災リーダーの育成	1回 ※豊田市	4回 ※刈谷市、豊田市、知立市、豊明市
手づくりハザードマップ作成	2件 ※刈谷市西境町地区始め	6件 ※安城市相生町地区始め
大雨行動訓練	2件 ※刈谷市西境町地区、豊田市川田自治区	5件 ※安城市緑町地区始め

6. 準用河川等の整備状況

準用河川草野川	刈谷市	L=0.2km 排水機+2.0m ³ /s	L=0.459km改修済み R1年度整備延長 L=0.054km
村前地区排水整備	大府市	排水区域13.0ha	未定
準用河川茶屋川	みよし市	L=1.3km	整備済み延長 L=550.5m(内、推進工24m) R1年度整備延長 L=36.0m
大東地区排水整備	大府市	排水区域63.0ha	未定

7. 市町の雨水貯留浸透施設助成制度

	浄化槽転用	雨水貯留槽	雨水浸透柵	雨水浸透管	雨水浸透側溝	透水性舗装	浸透槽
名古屋市	-	-	-	-	-	-	-
刈谷市	●	●	●	●	●	●	-
豊田市	●	●	●	●	●	●	●
安城市	●	●	●	●	●	●	-
東海市	●	●	●	●	-	-	●
大府市	●	●	●	●	-	●	●
知立市	●	●	●	●	●	●	●
豊明市	-	●	●	●	-	●	●
日進市	●	-	-	-	-	-	-
みよし市	-	●	-	-	-	-	-
東郷町	●	●	-	-	-	-	-
東浦町	●	●	●	●	-	●	●

8. まとめ

境川・猿渡川流域では、平成 26 年 3 月（平成 30 年 10 月 5 日 一部変更）に県と流域市町で流域水害対策計画を共同策定し、総合治水対策に取り組んでいるとことです。

流域内の降雨状況や計画に基づく河川、下水道、流域対策等の進捗状況及び流域内の開発状況等についてモニタリング調査した結果から、概ね順調に進捗していることを確認しました。

今後も継続してモニタリングを実施しながら、事業の推進に取り組んでいきます。